

『ういケアみなと』とは

We(我々区民)が、care(ケア)するという意味が込められています



気兼ねなく立ち寄り、安らぎと親しみを
感じていただくことを大切にしています。



開館時間内は自由に入館できるため、
仕事帰りなどライフスタイルに合わせて
ご利用いただけます。

がん患者さんやそのご家族、また、患者家族を支
援する方やがん在宅緩和ケアに関する情報を知り
たい方など、皆さんの訪問をお待ちしております。



『緩和ケア』とは

以前は「終末期ケア」という認識が一般的でしたが、
現在はがんと診断されたときから治療と並行して行
い、患者さんやそのご家族のさまざまな痛みやつ
らさを和らげ、自分らしく生活していくことを支
えていこうとするものです。

アクセス

・電車の場合

東京メトロ南北線・都営三田線「白金台」駅
2番出口右手横

・バスの場合

JR目黒駅東口 のりば①
都営バス品93大井競馬場前行「白金台駅前」下車

JR品川駅高輪口 のりば③
都営バス品93目黒駅前行「白金台駅前」下車

〒108-0071

東京都港区白金台4-6-2 ゆかしの杜5階



- ・開館時間 月～金曜 午前10時～午後9時
土曜 午前10時～午後5時
- ・休館日 日曜・祝日・12月29日～1月3日
- ・電話番号 03-6450-3421 (代表)
03-6450-3387 (相談専用)
- ・FAX 03-6450-3583
- ・mail info@minato-hpccsc.jp
- ・HP <https://www.minato-hpccsc.jp/>



港区立がん在宅緩和ケア支援センター
Home-based Palliative Cancer Care Support Center



住み慣れた
地域で
いつまでも
自分らしく



指定管理者：学校法人慈恵大学

個別面談・電話相談(無料)

医療的な悩みだけでなく、生活の中での心配事や心のつらさ、就労、介護、お金のこと等、がん患者さんやそのご家族が抱えている多種多様な悩みを遠慮なく相談してください。看護師、医療ソーシャルワーカー、社会保険労務士、アピアランスアドバイザー等がお話をうかがいます。



がんと言われ、つらい。
誰かに話を聞いてもらいたい。



がんの痛みはとってほしい。
でも、できるだけ自宅で過ごしたい。
何を準備すればいいの？



抗がん剤の副作用が辛い

相談専用電話番号 **03-6450-3387**

相談受付時間 月～金曜 午前10時～午後8時
土曜 午前10時～午後4時

アピアランス(外見)ケア個別相談

治療によって生じる脱毛や爪の変化等へのケア相談を行っています。女性、男性、年代問わず、どなたでもご相談ください。

自然に見えるウィッグをみつきたい。



抗がん剤の影響で爪が割れやすくなった。
ケアの方法が知りたい。



がんの治療と仕事やお金の個別相談

がん患者さんが、治療と仕事を両立するための個別相談を行っています。

治療で仕事を休まなければならない
会社にどう伝えたらいいのかな…。



自分が使える社会保障制度について
知りたい。



情報発信・学び・楽しみ・交流・癒しのためのセミナーやイベントの開催

がんに関連した情報発信の他、生活・栄養・運動・仕事をテーマにした定期セミナー、区民講演会、季節のイベント、ワークショップ等を開催しています。

地域包括ケアシステムとの連携

区の地域包括ケアシステムの一施設として、在宅療養相談窓口や高齢者相談センター(地域包括支援センター)等と連携しているため、より相談内容に適した窓口を紹介することができます。



がん患者と家族のための
くつろぎカフェ

がんを患った方や家族の交流の場です。

第1土曜、第2・第4火曜
午後1時30分～3時30分



情報コーナー

図書コーナーの他、アピアランスケアに関する用品(ウィッグ等)、栄養補助食品等を展示しています。



団体登録・ボランティア活動支援

がん患者を支援する団体は、登録後に講習室を利用することができます。詳しくはセンターまでお問合せください。